



住所 〒285-8765 千葉県佐倉市江原台2-36-2

TEL 043-486-1151

● 病院の概要



病床数	一般 … 399 床	療養 … 0 床	結核 … 0 床	精神 … 0 床	感染 … 0 床
1日平均外来患者数	777 人	医師数(常勤)	71 人		
1日平均入院患者数	303 人	指導医数(再掲)	38 人		

● 妊娠・出産・子育て中の勤務環境

■ 妊娠出産	■ 育児	■ 子育て
当直免除 <input type="radio"/> 時間外勤務免除 <input type="radio"/> 短時間勤務制度 <input type="radio"/>	当直免除 <input type="radio"/> 時間外勤務免除 <input type="radio"/> 短時間勤務制度 <input type="radio"/>	院内保育園 <input type="radio"/> 院内学童保育 <input type="radio"/>

【※】は「診療科による」等の条件あり、「-」は制度なし

● 臨床研修

■ 2025年度研修受入数	1年目 4 名	2年目 4 名
■ 処遇 ①基本給 (2025年度)	1年目 420,000 円/月 (590 万円/年)	2年目 510,000 円/月 (760 万円/年)
②賞与・手当	あり	
③当直	回数 2~3 回/月 (5 回/月 まで可能)	
	当直料 1年目9,000 円/回、2年目18,000 円/回	
④休暇	137日(年間休日116日、厚生休暇4日、有給休暇17日)	
⑤保険適用	組合健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険	
⑥宿舎	あり(自己負担額1,500 円/月)	
■ 出願期間(予定)	2026年6月22日	~ 2026年9月15日

【臨床研修の特徴】

当院のプログラムの特徴は、自由度が高いプログラムで自分の希望に沿った研修ができることです。

1年目は院内において内科、小児科、外科、救急など基本的診療科を中心に研修を行い、2年目は将来の専門研修に向けて、なるべくフレキシブルに研修が行われるように選択科研修期間を長く設けています。

1年目の内科研修は消化器内科、腎臓内科、循環器科、選択内科にて合計7ヶ月研修を行い、小児科研修は研修センター長の指導の下、外来研修を行いディスカッションしながら知識を深めることができます。

2年目は産婦人科・精神科・地域・救急研修を各1ヶ月ずつ協力病院・協力施設で選択していただきます。残りの9ヶ月は選択科として、院内の診療科や協力病院・協力施設にて選択し各病院の豊富な症例に基づく専門領域を合わせて研修ができます。また薬剤科と検査科の研修を取り入れ、調剤業務や各種検査、病理標本の作製手順なども学ぶことができます。

【病院の特徴】

当院は1874年に腎疾患の治療を目的とした政策医療を担う国立佐倉病院として誕生し、2004年3月に聖隷福祉事業団へ経営移譲され現在に至ります。

特徴としては、CKDの全域に対応可能な腎センター、あらゆる脊椎・関節疾患に対応できる、せぼねセンターや関節センターを有し、がん治療においては健診から手術、化学療法、放射線治療、緩和ケア等に対応できる体制が整っています。

これからも地域から求められる病院としてさらなる診療機能の拡大を行っていきます。

【プログラム責任者・指導医からのメッセージ】

各診療科は専門性の高い医療を患者さんに提供すべく、すべての職種が一丸となって日々診療を行っています。また年間2,000台以上の救急車を受け入れており、幅広い分野で実践的な研修を受けることができます。もちろん臨床研修を行う上で病院全体のバックアップが行き届いていることは言うまでもありません。各職種の垣根がない、動きやすい病院だと自負しております。ぜひ見学していただき、ご自身の目で確かめてください。お待ちしております。

【先輩研修医からのメッセージ】

当院のプログラムは研修医の人数が1学年4名と限られているため、上級医とかわる機会が多く、たくさんの先生から個別に指導をしていただける環境です。また、手技などにも挑戦しやすい雰囲気であり知識だけではなく技術面に関しても毎日勉強になっています。

当院は時間外労働も少なく休暇取得もしやすい環境のため、自分の時間を充実させることができます。趣味に費やしたり、資格の勉強をしたり、実家に帰省したりなど様々な過ごし方ができます。

医師としてスタートする上で安心して学ぶことができる環境が整っているとと思います。

● 専門研修

■ 基幹となっている基本領域

内科	小児	皮膚	精神	外科	整形	産婦
眼科	耳鼻	泌尿	脳外	放射	麻酔	病理
臨検	救急	形成	リハ	総診		

■ 処遇 ①給与モデル(5年目参考・当直料等込) (2025年度)

②休日休暇	
③保険適用	
④宿舎	

■ 連携・関連施設となっている基本領域

内科	小児	皮膚	精神	外科	整形	産婦
眼科	耳鼻	泌尿	脳外	放射	麻酔	病理
臨検	救急	形成	リハ	総診		

【専門研修の特徴】

現在基幹となっている領域はありませんが、内科・外科・整形外科・眼科・耳鼻咽喉科・泌尿器科・放射線科・麻酔科・リハビリテーション科の9領域で、千葉大学や東邦大学をはじめ関東近隣の大学・医療機関の連携、関連施設となっています。2025年度からは病理も加わり10領域となります。

これまで、消化器内科・腎臓内科・外科・整形外科などで受入実績があります。